

# 第9章 海洋文化・学習施設

## 第1節 海洋文化・学習施設（仮称） 整備事業

### 【施設整備の概要】

#### (1) 施設整備の目的

海洋文化・学習施設（仮称）は、近年の余暇活動の多様化、生涯学習意欲の高まり、さらには総合的な小名浜港の整備方策の検討などを背景として、子どもから大人まで多くの人々が、海の生物や環境について楽しみながら学び考へ、交流することのできる施設として小名浜港2号ふ頭に平成12年夏の開館を目的として整備を行うものである。

本施設は、「水族館」を中核として「海洋博物館」「海洋科学館」の機能を合わせ持った新しいタイプの「海洋ミュージアム」を目指している。

#### (2) 基本理念

本施設には、将来の様々な海洋性レクリエーションや海洋文化活動への対応、海に関する知的体験の提供、環境問題に関する教育や意識の啓発といった機能が求められている。このため、海を地域的（ローカル）な視点から地球的（グローバル）な視点まで、幅広くかつ多様な視点から体験学習することを通して、自然と人間とのかかわり合いや生命の尊さ、自然保護の大切さ等について理解を深めてもらうことを主眼に、本施設の基本理念を「海を通して『人と地球の未来』を考える」とした。

### 1 本館建設工事

#### (1) 建築設計の概要

水族館の機能を中心として、博物館、科学館の機能を併せ持つ複合施設として、以下の内容とした。

- 主要構造 鉄筋コンクリート 鉄骨鉄筋コンクリート 鉄骨
- 階数 地上4階
- 敷地面積 約26,342㎡
- 建築面積 8,815㎡
- 延床面積 13,714㎡
- 高さ 34m
- 展示水槽総容量 3,990 t
- メイン水槽 「黒潮・親潮大水槽」  
(展示水量 2,050 t)
- 建設工期 平成9年10月～平成12年1月(予定)
- 概算工事費(関連工事含む) 156億円

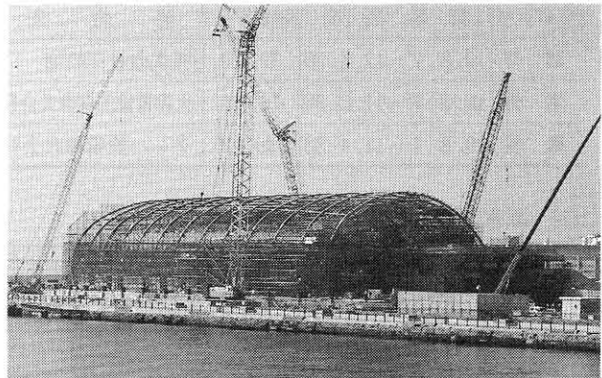
#### (2) 展示設計の概要

「福島の家」の最も特徴的な事象である「潮目の海～黒潮と親潮のであい～」を展示のメインテーマとして、福島の川から福島の家へ、そこから海流をたどりながら親潮、黒潮それぞれのふるさとへ展開する展示のストーリーを設定した。

観覧者が、1階のエントランスホールからプロローグ展示を経て、エスカレーターで最上階の4階へ上り、各ゾーンを巡りながらスロープ状の回廊を階下へと向かう展示動線とした。

#### (3) 本館新築工事進捗状況

本館建設工事については、平成9年秋に着工し、平成12年1月末の工期により、工事を進めているが、平成10年度末現在、事業費ベースでの進捗率は、約36.7%となっており順調な進捗をみせている。



本館新築工事状況（11年3月現在）

#### (4) 本館新築工事関連事業

##### ① 植物展示設計

本施設本館内に植物展示工事を実施するにあたり、その設計業務を委託により行った。

契約期間	契約金額(円)	契約先
11.1.20～11.3.19	3,391,500	株式会社日本設計

##### ② 情報システム設計

本施設本館内の情報システム構築のため、システム設計を委託により行った。

契約期間	契約金額(円)	契約先
11.1.20～11.3.19	2,625,500	株式会社学習研究社

##### ③ 本施設本館内に設置するミュージアムショップ及びレストランの開設に係る運営基本計画策定のため、必要な調査を委託により行った。

契約期間	契約金額(円)	契約先
11.2.8～11.3.19	1,795,500	株式会社ミューゼ